

IRI 設立 20 周年記念祝賀会を開催しました

～300 人の皆さんにご来場頂きました～

～イスラエル工科大学ボアズ・ゴラニー副学長と～

1996 年 12 月 9 日設立以来 20 年が経過しました。企業生存率は 10 年は 6%、20 年は 0.04%とされていますが、激動の 20 年でした。1999 年東証マザーズ第 1 号上場、2007 年 IXI 事件による上場廃止と ORIX グループ入り、2011 年買戻しによる独立系ベンチャーへ復帰、そして 2016 年 12 月 9 日三年後の再上場宣言へ向けての日を迎えることができました。この記念すべき日に、私の挨拶(プレゼン資料参照)、今後の成長戦略パートナーであるイスラエル工科大学(テクニオン)のボアズ・ゴラニー副学長による挨拶(プレゼン資料参照)、SMBC 日興証券の久保哲也会長、インターネットの父＝村井純慶應義塾大学環境情報学部長、中川美恵子 IRI 取締役の挨拶、大和田廣樹 IRI 共同創業者(BBTower 初代社長・現取締役副会長)の挨拶がありました。

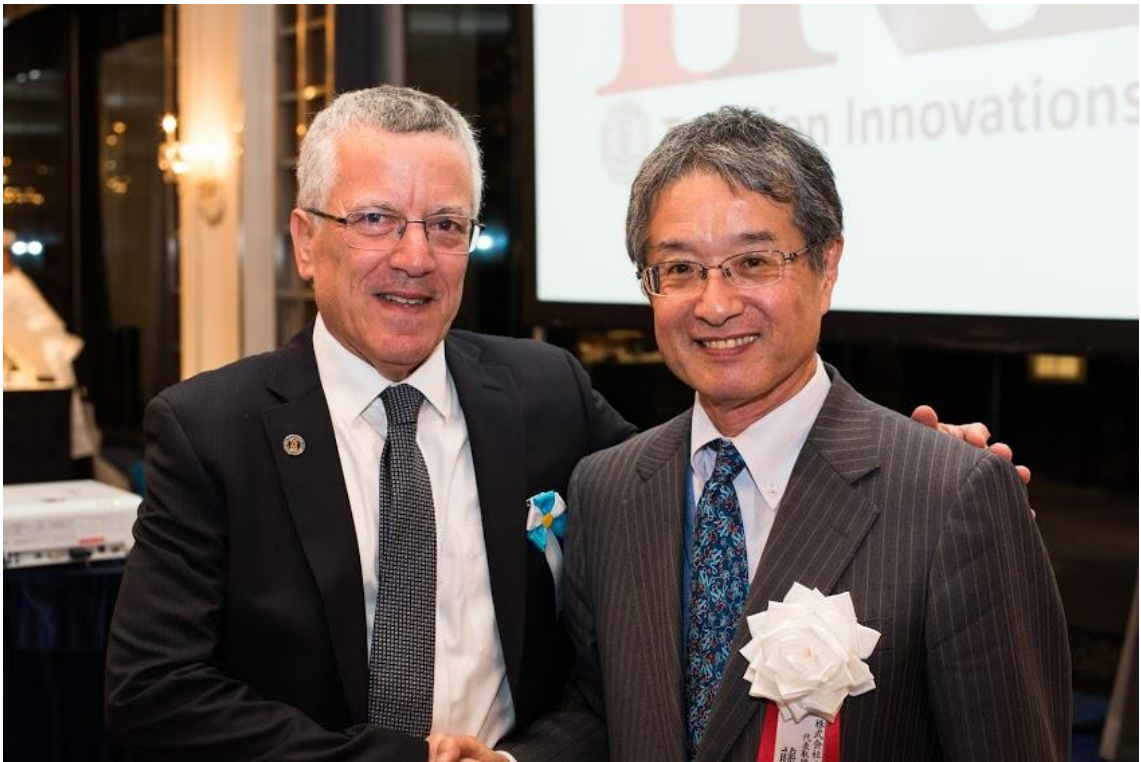
Everything on IP! & IP on Everything!を標榜し創業後 20 年が経過、インターネットは、情報通信インフラとして益々、その重要度を増しています。これからの 20 年は、情報通信産業に留まらず流通・医療・農業などあらゆる産業分野のデジタルトランスフォーメーションを推進する時代であると位置付けています。

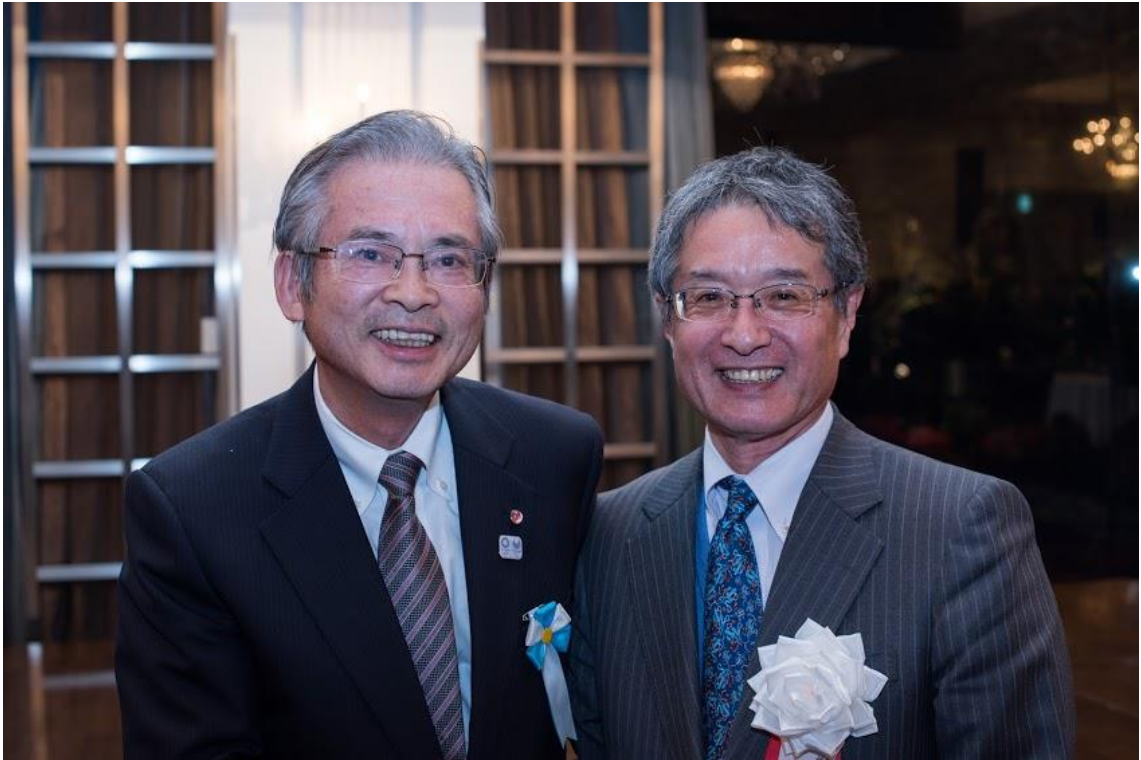
IRI は、グループ企業である、ナノオプトメディア、BBTower、モバイルインターネットキャピタルと共に、国内の学術研究機関に加えて、テクニオン(イスラエル工科大学)、カリフォルニア大学等とのグローバル・パートナーシップの下、2019 年の皆様との共同事業を進めることで日本発のオープン・イノベーションの原動力となることを宣言させて頂きました。とても感慨深い一日となりました。これからの 20 年も宜しくお願い致します。

(おわり)

















RI  
Innovations

# インターネット総合研究所 設立20周年記念祝賀会





インターネット総合研究所  
立20周年記念祝賀会



# これまでの20年とこれからの20年

2016年12月9日

株式会社インターネット総合研究所  
代表取締役所長

藤原 洋



## IRIグループの歩み

「IP技術をあらゆる産業分野へ適用する」を企業理念として事業展開

第1フェーズ  
1996～2000  
売上：10億円

通信インフラのIP化を推進＝IRI本体事業で4期連続黒字IPO  
⇒ 通信キャリア（日本テレコム、NTTドコモ、JPIXなど）  
⇒ 日本初の商用IX（JPIX）  
⇒ 世界初のモバイルインターネットサービス（NTTドコモ）

第2フェーズ  
2001～2005  
売上：100億円

コンテンツ・機器のIP化/ブロードバンドの推進  
⇒ フレッツIP網/イーアクセス/アッカ/Yahoo!BB/USENの立上げ技術支援  
⇒ BBTower（データセンター：ヤフー、イトレード）立上げとIPO  
⇒ IRIユビテック（ユビキタスネットワーク技術支援事業）買収とIPO  
⇒ IRI本体の持株会社化（人的資本の子会社への配置）

第3フェーズ  
2005～2011  
売上：200億円

インタープライズのIP化の推進＝GKNの買収、IXI事件でORIXグループ入り  
⇒ IRI本体はORIXグループとIRIグループとの経営統合を契機に  
ORIXグループ各事業における戦略ツールとしてのITを提供  
⇒ IRIグループ各社はORIXグループの各事業部門とのシナジー追求

### 独立系ベンチャー企業として再出発して20周年

第4フェーズ  
2011～2016  
売上：10⇒30億円

2011年3月10日独立系ベンチャー企業（ORIXからIRI株式を藤原が買収）  
⇒ 持分法適用 BBTower（22%）、モバイルインターネットキャピタル（30%）  
⇒ ナノブトメディア（INTEROP TOKYO等運用）を100%子会社化  
⇒ その他複数企業をIRIグループ入りを検討  
⇒ **2016年テクニオン（イスラエル工科大学）と日本での第一優先権**

## 四十にして惑わず

1999年12月22日の東証マザーズ第1号上場記念の時のものです。  
写真中央が、私と当時の山口理事長

上場業務の中心＝中川美恵子さん



45歳。

共同創業者＝大和田廣樹さん



## 五十にして天命を知る



ブロードバンドタワー  
上場 2005年8月

50歳

今も大和田廣樹さんと

IRIユビテック上場  
2005年6月 50歳



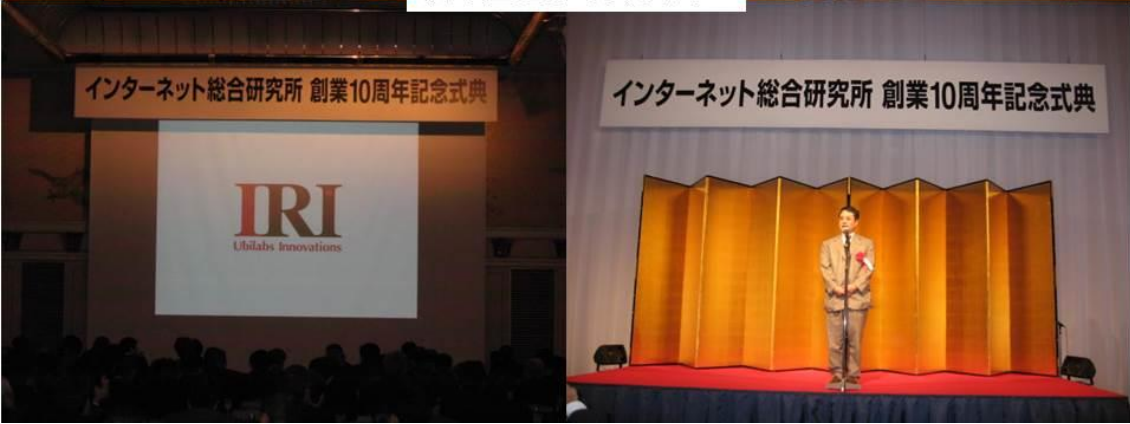
ORIXとIRI経営統合発表2007年5月 52歳

今もIoTセキュリティで荻野司さんと

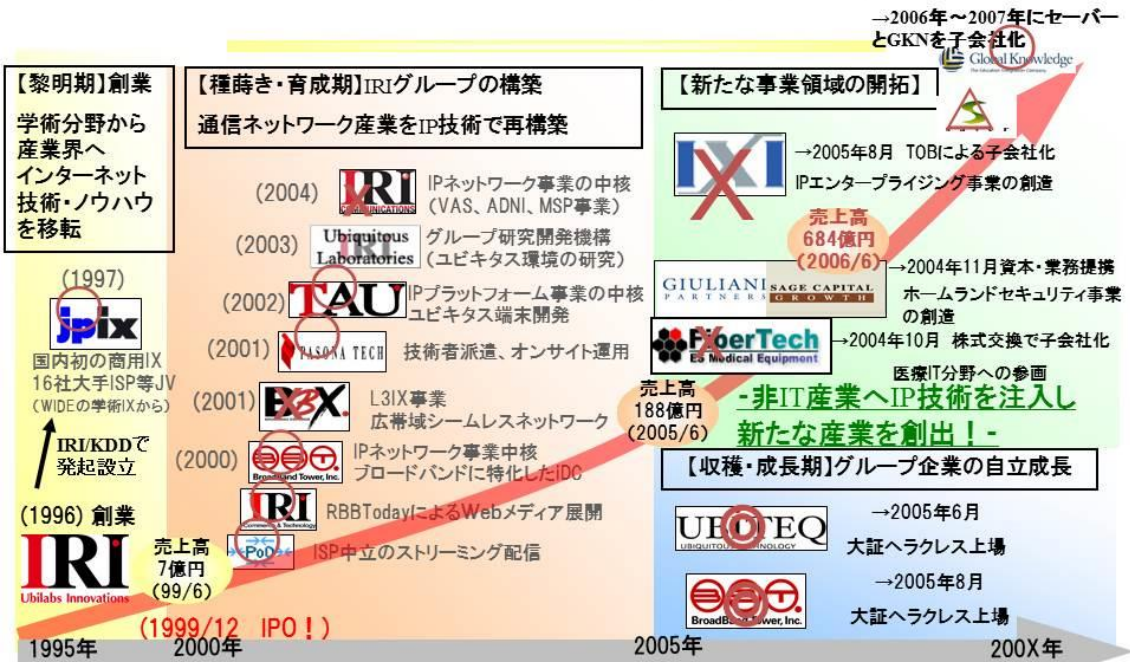
2006年12月9日 インターネット総合研究所10周年でご挨拶して頂きました



秋草直之さん安らかに

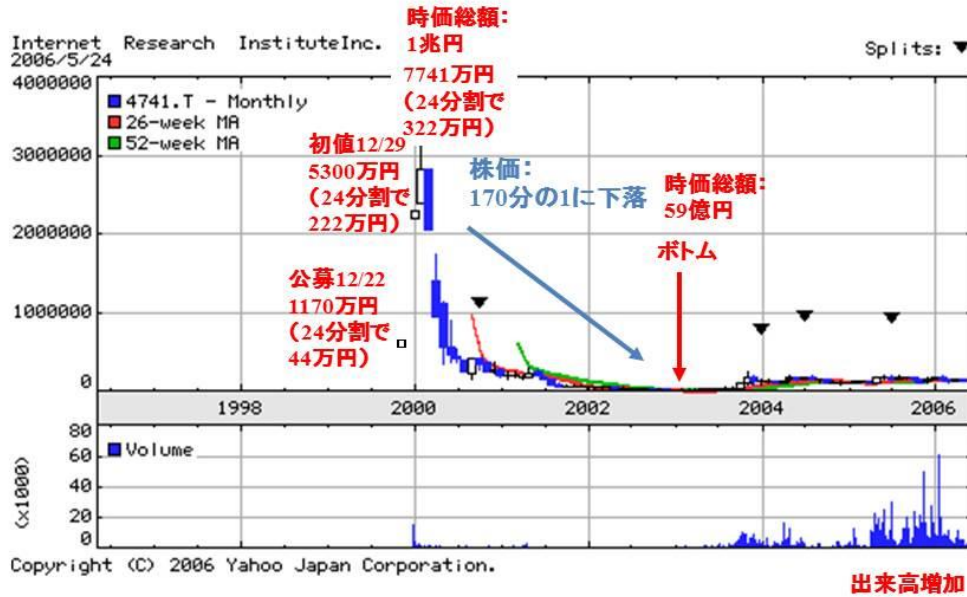


## IRIのこれまでのM&Aの歩み(O△X)



IRIのM&A=7勝3敗1分け1大敗！

## 株式市場での急騰と急落



## 株式市場での再評価 が、しかし？



## 思い出 2007年6月20日 IRI ORIXグループ入り(52歳)



**Kigyoka Club**  
企業家倶楽部

**企業家倶楽部** Kigyoka Club

2011年05月05日

デジタル情報革命を起爆剤にして環境エネルギー革命を起こす/  
インターネット総合研究所代表取締役所長  
最高経営責任者 藤原洋

**2011年3月、インターネット総合研究所(IRI)の藤原洋所長はオリックスからIRIの全株式を買い戻し、再スタートを切った。07年11月、オリックスの完全子会社となってから4年の時を経ての振り返りである。デジタル情報革命の先陣を切る藤原所長に買い戻しに至った理由、今後の事業計画などを聞いた。(聞き手は本誌編集長 徳永卓三)**



問 今回のIRIの買い戻しについてお伺いします。

藤原 2011年2月23日に契約をして、同年3月10日にオリックス株式会社に払い込み、100%株主となりました。ただ、ユビテックだけは直轄にしたいというオリックスからの申し出があり、10年7月、弊社が所有していたユビテックの株式60%をすべてオリックスに譲渡しました。

**2011年3月10日ORIXからIRI株式を藤原個人で100%買戻し！独立系ベンチャーへ**












# これからの20年

～テクニオンと共に2019年の株式上場へ向けて～



## GDPからの視点(資源から知恵の時代へ)

**過去の20年は日本だけが衰退！イスラエルとの連携で復活を！**

	1994年	2014年	増減
日本 	4.85 (38771)	4.59 (36156)	3.4%減(6.6%減)
米国 	7.30 (27755)	17.35 (54360)	2.4倍 (1.96倍)
ドイツ 	2.21 (27116)	3.87 (47716)	1.75倍 (1.76倍)
英国 	1.14 (19743)	2.99 (46313)	2.6倍 (2.35倍)
フランス 	1.40 (24398)	2.83 (44288)	2.0倍 (1.82倍)
中国 	0.56 (471)	10.4 (7626)	17.8倍 (16.2倍)
韓国 	0.46 (10207)	1.4 (27970)	3.0倍 (2.74倍)
オーストリア 	0.204 (25688)	0.438 (51433)	2.15倍 (2.0倍)
ハンガリー 	0.043 (4148)	0.137 (14006)	3.2倍 (3.38倍)
イスラエル 	0.084 (15599)	0.305 (37222)	3.6倍 (2.39倍)
スウェーデン 	0.226 (25647)	0.571 (58590)	2.5倍 (2.18倍)

**イスラエルの驚異的な経済成長は知恵の時代の到来の証し！**

\*GDP:単位=兆USD(1人当たりGDP=単位USD)



## テクニオン連携イノベーション事業 【これから続々IRIグループ企業】

- ◆ **テクニオン（イスラエル工科大学）の「Friends of Technion 日本代表」**  
に就任、同大学に関する『**国内での第一優先・独占実施権**』を取得
- ◆ 1912年創立にされたイスラエル最古の、また、最高峰の国立工科大学であり、設立初期には、**アインシュタイン**が中心となり設立され、**米国マサチューセッツ工科大学（MIT）と肩を並べる世界最高の研究・教育大学。**
- ◆ **大学病院及び医学部があるという点で、MITとは異なる特色**を有し、医療、電子工学、コンピューターサイエンス、自然科学など全科学技術分野において、**商業化、実用化。**
- ◆ **米国NASDAQに、同大学から生まれた70社以上の企業が上場。**
- ◆ **18の学部及び教育機関を擁し、ノーベル賞の受賞者も教鞭をとるほか、世界中の多くの一流企業（マイクロソフト、Google、Apple、Facebook、Intel、Philips、Siemens、Qualcomm社etc.）が、同大学の人材を囲い込むなど、優れた学生・研究者の輩出機関。**



## テクニオン連携イノベーション事業 【次なる事業価値創造】

- ◆ **テクニオン（イスラエル工科大学）がもたらすイノベーション**  
に関する事業化 【これから続々テクニオン発IRIグループ企業登場】
- ◆ **日本の知的産業化とそれへの構造転換を加速し**
- ◆ **新たな日本社会の創造**
- ◆ **新産業の創出とQoLの実現**

### 【主たる事業】

- I. **日本企業との連携によるイノベーション創出事業**  
～ テクニオンおよびテクニオン発VBが有する知的財産の事業化～
- II. **日本企業へのテクニオンおよびテクニオン発VBとの連携支援事業**  
～ イノベーション創出事業化検討に付随する各種関連サービスの提供～
- III. **テクニオン発ベンチャー企業を主とするイスラエル企業への投資および日本の株式市場への上場支援事業**



×



=



本日はご来場ありがとうございます

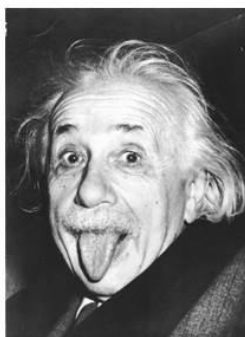
～これからの20年へ向けて～

【皆様とテクニオンと共に再上場へ】



次は、テクニオンの  
Boaz Golany副学長のお話！

20年後のシミュレーション画像



The Technion – Israel Institute of Technology 

A Brief Introduction



**Professor Boaz Golany**

Vice President for External Relations & Resource Development

## Major Milestones

- 1920s: Classes opened
- 1950s: New campus; aeronautics
- 1960s: Computer Science; Medicine;  
Microelectronics
- 1980s: Optoelectronics
- 2000s: Nanotechnology
- 2011: Technion – Cornell
- 2013: Technion Guangdong



## The Technion Today: Facts and Figures



- 18 Academic departments
- Engineering, Natural Sciences, Medicine, Architecture
- 52 Research centers; 135 Academic programs
- 565 Faculty members; 2500 other staff
- 14,300 Students (9,500 BSc, 3100 MSc, 1100 PhD, 600 MD)
- 1,000 foreign students
- 10,000 pupils & students in the pre-university center
- 300 acre, 90 buildings & 4,200 dormitories
- Two more campuses in Haifa, one in Tel Aviv
- Two overseas campuses (NYC, China)



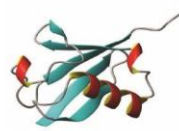
## Technion Nobel Laureates



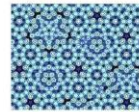
2004 - Avram Hershko  
Nobel Prize in Chemistry  
Technion



2004 - Aaron Ciechanover  
Nobel Prize in Chemistry  
Technion



2011 - Dan Shechtman  
Nobel Prize in Chemistry  
Technion



## Major Research Programs & Centers



- Space Research Institute
- Water Research Institute
- Nanotechnology Institute
- Center for Life Sciences & Eng.
- Energy Program
- Autonomous Systems Program
- Quantum Program
- Integrative Cancer Center



## Technion-Cornell Partnership



## Guangdong Technion Israel Institute of Technology



Tel Aviv, Israel 2013

## Technion as an Economic Growth Engine



- Technion alumni
  - Israel #3 on NASDAQ (after USA, China)
  - Technion alumni lead 2/3 of Israeli companies on NASDAQ
  - 1,602 companies were created by Technion graduates in Israel during 1995-2014
  - 53% in ICT, 24% in Life Sciences
  - ~800 are still active; ~300 were merged or acquired resulting in \$26B capital raised
  - ~100,000 jobs created
- Technion faculty & graduate students
  - 12-15 new companies annually
  - ~\$300M investments in Technion companies in 2010-2015
  - ~\$35M income from tech commercialization annually

## A Sample of Successful Tech Transfer by Technion Researchers & Graduates



- **Azilect**: An anti Parkinson drug
- **Mazor**: Robotics technology for spinal operations
- **Insightec**: Non-invasive operations
- **Disk-on-key**: Memory sticks
- **PillCam**: Substitute to colonoscopy
- **Rewalk**: Enables paraplegics to walk
- **Novocure**: Fighting brain cancer
- **Invision Biometrics**: Gesture recognition
- **Plus 500**: Algorithmic trading
- **Gusto**: Web-based payroll service



